

## リフューズ



# そもそも ごみになるものはもらわない！

多くの方がマイバッグを持ち歩くことで、以前に比べてレジ袋をもらう人が少なくなってきました。

「そもそもごみになるものはもらわない」という発想。

ごみの減量化を進めるためには、至ってシンプルな発想ですが、レジ袋に限らず、コンビニ等の割りばしやスプーンなど普段の生活の中で何気なくもらっているものについて見直してみてもいいのではないでしょうか。

言葉の意味 : Refuse (リフューズ; 断る)  
要らないものは断り、ごみを発生させない  
過剰包装を断ったりするのもリフューズになります。

## リデュース



# そもそもごみにしない！

つつい食べきれないほど作りすぎてしまった料理や買いすぎてしまい腐ってしまう食材などは本当にもったいないですね。

「そもそもごみにしない」という発想。

これも至ってシンプルな発想ですが、生ごみの量が少なくなれば全体の可燃ごみの量も大きく減ります。

野菜などは過剰に除去せずに、できる限り食材として活用できればいいですね。

言葉の意味 : Reduce (リデュース; ごみを減らす)  
ごみにならないように工夫して減らす  
シャンプーや洗剤など詰め替え商品を使うのもリデュースになります。



## こんなこともやってみよう！

食パンを食べ終わった後の袋やスーパーマーケットなどで肉や魚などを買ったときに入れてもらえるポリ袋などは、そのまま捨てずに、他のものを捨てるときに使うなどできる限り新しいポリ袋を使わないような工夫をしてみてください。

鳥取県では、ごみの減量化のために、「4つのR」の推進に取り組んでいます。  
米子市も鳥取県と歩調を合わせて「4つのR」を推進していきます。

- ① リフューズ : ごみを発生させない
- ② リデュース : ごみを減らす
- ③ リユース : 繰り返し使う
- ④ リサイクル : 再利用する



米子市クリーン推進課  
TEL: (0859) 23-5259  
E-mail: clean@city.yonago.lg.jp